

# 学習課題(中学校3年生)



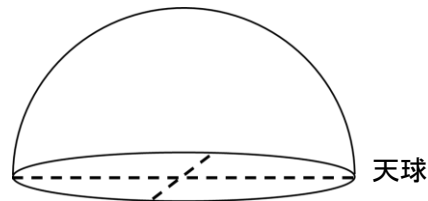
## 【理科】

### <学習内容>「星座の星の動き」

○教科書「星座の星の動き（P74～81）」を読んで、星座の星が1日や1年を通してどのように動いて見えるのか、その原因と結び付けて考え、ワークシートにまとめてみよう。

### <取り組み方>

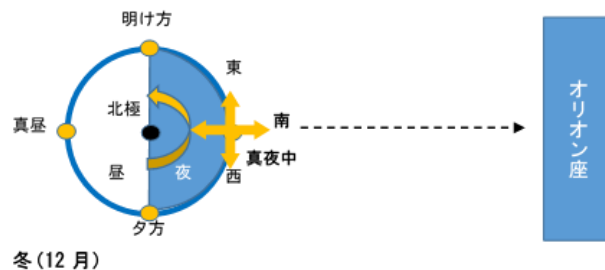
- (1) 教科書P75の「観察2」について、星の1日の動きは、おおよそ天球上をどのように表されるだろうか。P76の「図45」の写真やQRコードの動画を観ながら、4方角それぞれの「星の通り道」「星の動く向き」を書き入れ、ワークシートの天球上に図でまとめよう。



- (2) 教科書P79の「図52」と同じような実験を行い、次の①～②について考えよう。
  - ①春夏秋冬それぞれの季節で、真夜中に南の空に見える星座
  - ②真夜中にさそり座を見たとき、春夏秋それぞれの季節でどの方角に見えるか。
- (3) 1年を通して、地球から見た太陽や星座の見かけの動きが変化するのはなぜか、理由を考え、説明しよう。
- (4) 教科書P47の「学ぶ前にトライ」について、自分の考えを書いてみよう。

### <学習のヒント>

- (1) 北極星は動かないことに注意し、地球の自転の向きと、北極星の周りの星の見かけの動きを関連付けながら考えてみましょう。また、夜晴れていて星が見えるなら、保護者と一緒に観測するのもよいでしょう。
- (2) 実際に試すことが難しければ、下記図のように教科書P60の「図39」を、北極を真上から見た形で考えてみましょう。



ワークシート（教科：理科） 名前

---

(1)

